

令和元年 9 月 11 日

各位

名古屋商工会議所

街なか先端技術ショーケース “「モノ＋スゴ」プロジェクト in 名古屋駅前” 取材方お願いについて

名古屋商工会議所では、当地の強みである「産業（＝主にモノづくり）」に様々な価値を「＋（プラス）」し、「産業のちから」の『楽しさ』『凄さ』『可能性』を発信する「モノ＋プロジェクト」に取り組んでいます。

今般、同プロジェクトのうち、当地域の企業が生み出す最先端技術を、「街なか」で多くの人々に見て、触れて、体験していただく「モノ＋スゴ」プロジェクトのイベントを、名古屋駅前のオフィス・商業ビル「ミッドランドスクエア」で開催いたします。

今回は、障がい者スポーツ競技用車いすや歩行支援機器、サービスロボットなど、多様な人々の自由な活動を支える、「人にやさしい先端技術」を取り揃え、実際にお困りごとを感じておられる方はもちろん、これからのシームレス共生社会を担っていく若い世代の方々にも、その技術がもたらす社会への期待感や共感を抱いていただく趣向です。

つきましては、愛知県内外の多くの方々に当イベントにご来場いただき、先端技術を体験していただきたいと存じますので、広く報じていただきますとともに、この機会に、是非ご取材いただきますようお願い申し上げます。

なお、ご取材いただける場合は、取材申込書をご利用の上、9月17日（火）までに、ご返信くださいますよう、お願い申し上げます。

記

1. 日 時 令和元年9月28・29日（土・日） 11:00-18:00
2. 場 所 ミッドランドスクエア（愛知県名古屋市中村区名駅四丁目7番1号）
 - ①商業棟B1アトリウム イベントスペース
 - ②オフィス棟1Fエントランスロビー
3. 内 容 3ページ目以降をご参照ください。

以 上

【お問い合わせ先】

名古屋商工会議所 商務交流部 ビジネスマッチングユニット 石川誠治
TEL : 052-223-5718
Mail : s.ishikawa@nagoya-cci.or.jp

FAX: 052-231-5703

【 〆切：9月17日（火） 】

“「モノ＋スゴ」プロジェクト in 名古屋駅前”取材申込書

●報道機関名

名称 _____

●取材代表者氏名・連絡先

お名前 _____

電話番号 _____

メールアドレス _____

●取材予定日（○を付してください）

・ 9月28日（土）

・ 9月29日（日）

【別紙】

項目	内容	
イベントタイトル	「モノ＋スゴ」プロジェクト in 名古屋駅前	
開催日時	令和元年（2019年）9月28日（土）・29日（日） 11:00～18:00（両日とも）	
会場	ミッドランドスクエア（名古屋市中村区名駅四丁目7番1号） ①商業棟B1アトリウム イベントスペース ②オフィス棟1Fエントランスロビー	
コンセプト・開催趣旨	「モノ＋スゴ」プロジェクトとは	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の強みである「産業（主にモノづくり）」に様々な価値を「+（プラス）」し、「産業のちから」の『楽しさ』『凄さ』『可能性』を発信する名古屋商工会議所の取り組み「モノ+（プラス）プロジェクト（注）」の一環。 ・「モノ＋スゴ」プロジェクトは、当地域の様々な企業が生み出す最先端技術を集客スポット等に展開し、多くの人々にその凄さ、うれしさを体感していただく「街なか先端技術ショーケース」。
	今回のイベントのねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・世界的なスポーツイベントの開催にともない、愛知県の玄関口である名古屋駅の利用者増大が見込まれるタイミングに合わせ、同駅に隣接し、平時から多くの人々で賑わう「ミッドランドスクエア」に、先端・先進技術で社会に貢献する愛知県の企業5社の製品や実証機7点を一堂に集結してご披露。多くの往来のお客様に、各社の技術を観て、触って、体験していただき、当地域の「産業のちから」の魅力に浸っていただきます。
出品目へ出展企業	①パラスポーツ競技用車いす ＜日進医療器(株)＞	<ul style="list-style-type: none"> ■「車いすバスケットボール」、「パラ陸上競技」のトップアスリートを支える競技用車いす各1台に加え、平昌2018パラリンピック冬季競技大会のアルペンスキー競技で活躍した「チェアスキー」（実物）を展示。 ◇競技用車いす2台は、乗って動かしたり、持ち上げてみたりして、軽量かつ高剛性のモノづくり技術を体感していただきます。
	②電動アシスト歩行車「Tecpo」 ＜(株)シテックホスミ＞	<ul style="list-style-type: none"> ■自立歩行に不安のある方にも、安全・快適に歩いて外出を楽しんでいただけるよう、路面に応じて最適な支援をおこなう電動アシスト歩行車。 ◇平地はもちろん、坂の上り、下りや斜面を横断して歩行する際の最適なアシスト制御を実車で体験いただきます。
	③ポーターロボ ＜新明工業(株)＞	<ul style="list-style-type: none"> ■施設内の移動時に、目的地までのルートを自動で生成し、荷物を載せて移動する自律運行型ロボット。 ◇展示スペース内の任意の地点をタッチパネルで目的地設定し、自動で荷物を運搬させる体験ができます。
	④Smart mobile robot（荷物搬送ロボット） ＜(株)シテックホスミ＞	<ul style="list-style-type: none"> ■事前に設定した走行経路に沿って周辺を認識しながら走行し、障害物を検出すると自動で停止する無人搬送ロボット。 ◇展示スペース内を縦横にスムーズに移動し、荷物を自動搬送する様子、走行経路上に人が立つと自動停止する様子などを実演でご覧いただきます。

項目	内容
出展品目 へ 出展企業 へ	⑤工場災害体験VR <株式会社ホスミ> ■工場で起こりうる災害を疑似体験することで、安全作業の啓発に役立つVR（Virtual Reality：仮想現実）システム。 ◇衝突、挟まれ、重量物落下、高所からの落下、感電などの工場災害の臨場感あふれる疑似体験を通じて、安全啓発・災害防止教育におけるVR応用の有効性を実感していただきます。
	⑥開発から25年！ 広がるQRコードの使い方 <株式会社デンソーウェーブ> ■スマートフォンで読み取るおなじみの「QRコード®」の新しい使い方として、家の鍵にも使えるQRコードを使った「顔認証」システムや、フレーム型の新しいQRコードなどをご紹介します。 ◇来場者の顔写真を撮影し、顔の特徴をQRコード化して、実際に「顔認証」による本人確認のデモが体験できます。
	⑦歩行領域EV （立ち乗りタイプ） <トヨタ自動車株式会社> ■効率的でスムーズな大会運営と環境負荷低減を目指す東京2020オリンピック・パラリンピックで、警備や大会運営スタッフの移動をサポートする立ち乗りモビリティ。 ◇今回のイベントでは、実際に走行する様子をご覧ください。

【凡例】 ■…各出展品目の概要説明 ◇…イベント当日の展示態様・体験等の概要説明

注…「モノ+（プラス）プロジェクト」

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を通じて、東京は「スポーツのちから」で人々に心の豊かさや「わくわく・ドキドキ」を提供するのに対し、当地では、地域の強みである「産業のちから」で同様の体験を提供することを目指し、「モノ+（プラス）プロジェクト」として、以下の事業を企画・展開。

- ①「モノ+シリ」プロジェクト：地域の産業観光資源開拓とプレミアム感のあるツアー造成
- ②「モノ+スゴ」プロジェクト：地域の産業のちからが生み出す最先端技術を街なかに展開
- ③「モノ+フェス」プロジェクト：東京オリンピック・パラリンピックに関連付けた技術展（2020年春）
- ④「モノ+ガタリ」プロジェクト：企業の現場で活躍する「匠」の技と思いを子ども達に伝承
- ⑤「モノ+ゴコロ」プロジェクト：障がい者スポーツ支援による「こころのバリアフリー」実現

【出展品目画像】 ※実際の展示品は、画像と異なることがあります。



①競技用車いす（日進医療器(株)）



②電動アシスト歩行器「Tecpo」（(株)シンテックホズミ）



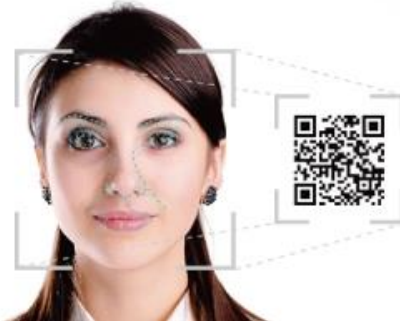
③ポーターロボ（新明工業(株)）



④Smart mobile robot（荷物搬送ロボット）
（(株)シンテックホズミ）



⑤工場災害体験VR（(株)シンテックホズミ）



⑥開発から25年！広がるQRコードの使い方
（(株)デンソーウェーブ）



⑦歩行領域EV<立ち乗りタイプ>（トヨタ自動車(株)）